

## [ し め く くり ]

4日目の午後，研究会の反省と今後の課題について議論が行われた。以下は，参加者からの問題提起といったものを，簡単に箇条書にしたものを示す。

- random markoff process の ergodic theory (寺本)
- localization の問題 (堀，渋谷)
- random lattice の Hall 係数 (松原)
- 一次元の問題の徹底的解明 (松田)
- coarse graining (松田)
- electron の問題 → phonon へ拡張 (松田)  
(self-trapping, Mott の suggest etc. に重点をおいて)
- resonance mode → localization (朝日)
- electron correlation の問題 (塚田)
- 多次元と一次元の差異を明らかにする (渋谷)
- 熱的に出来る randomness
  - { order — disorder (合金)
  - { spin randomness がある時の電気伝導 }
- と所謂 random system の問題との関連 (渋谷)
- low concentration (cluster 的) に於る heavy と light impurity の duality (渋谷)
- small system の固有値分布と， localization の state density の関連 (柏村)
- end effect ⇔ pseudolocalization (戸田)
- Rubbin の問題に於る localization の役割 (戸田)
- Greenian から見た localization (長谷川)
- 実験とのつながりを考える (米沢)  
(例 混晶，不純物伝導)
- 不純物間の correlation ある random system への拡張 (米沢)

しめくくり

- discrete な問題 → continuous randomness  
(liquid metal) (米沢)
- potential range との関連で種々の量の性格を調べる。 (張)
- computer experiment の具体的な計画  
critical unharmonicity
- 電子 — 格子相互作用  
(不純物の近傍) (武野)
- exciton — phonon  
多体的問題 (武野)